

The background of the slide is an abstract composition of various geometric shapes, including cubes and rectangular blocks, in shades of blue and white. The shapes are arranged in a way that creates a sense of depth and movement, with some blocks appearing to be stacked or overlapping. The overall effect is a modern, architectural aesthetic.

誰ひとり、取りこぼさず 個才を発揮できる教育とは

株式会社 **SPACE** CEO
東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員

福本 理恵



不登校の支援を行き渡らせるためのDXとは

「未来の教室」での事例紹介

広島県福山市の校内フリースクール

- 校内フリースクール「きらりルーム」：福山市内6校が実施
 - 城東中学校では専任教員1名を配置
 - 学校内外の調整と個別支援全般を担当
 - 担当授業時間数は0時間の特例措置
 - 教務主任を兼ねる
 - 定数は他の学校と同じで、加配ではない
 - 追加予算で学校内外でのコーディネーターとして配置できると理想的
 - 指導主事あるいは養護教諭などが適任



支援内容と支援到達率

2020年度

2021年度

支援
内容

生徒への探究学習プログラムの提供と個別の探究学習の伴走支援

生徒本人への生活・精神・学習支援及び、保護者への介入

支援
到達
率

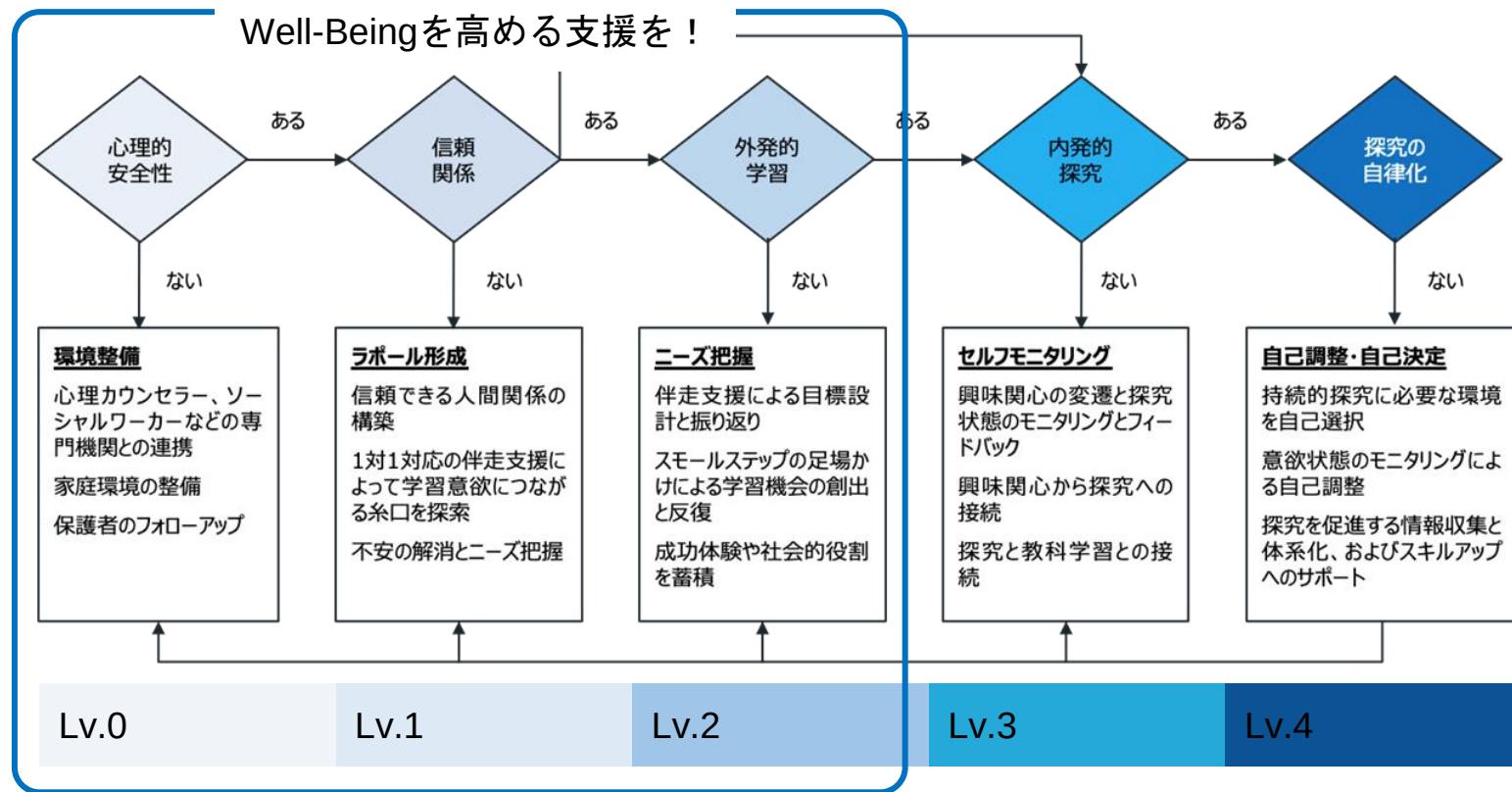
25名中の5名の生徒がプログラムに参加。完全不登校や学習以前の家庭、本人の問題が大きくてアプローチが難しかった生徒が20名

支援到達率：**20%**

26名中の生徒のうち、24名及び保護者に対して上記の支援を実施。学校外の専門家による家庭への介入と精神的支援も積極的にカバー

支援到達率：**92.3%**

前年度実証の成果「レディネスと段階的支援」



支援対象者と支援体制について

2020年度

2021年度

支援
対象

城東中学校の中1～中3まで
不登校傾向の生徒25名

城東中学校の中1～中3まで
不登校傾向の生徒26名と保護者

支援
体制

学校内外の10名

- 城東中学校教員：4名
- 広島大学インターン：6名

学校内外を連携させるチーム体制へ
教育×福祉の領域へ
生徒＋保護者の支援も

学校内外の36名

- 城東中学校教員：20名
- 広島大学インターン：8名
- SC：1名
- 不登校、就労支援のNPO：3名
- 介助員／支援員：4名

支援の到達率を上げた要因

1

支援方針の決定

- ・ 属人的な支援内容を10項目で定義した支援に整理して実施
- ・ 日々の支援の構造化
- ・ 構造化によるチーム内での役割分担と支援の明確化/共有化

2

学校内外のチーム体制

- ・ 特定の教員が担当していた難しいケースを学校外の専門家やインターンと連携
- ・ 学校内外とのチーム全体で取り組む体制へ移行。コーディネーター必須

3

記録システムの導入

- ・ メモや頭の中で記録していたものをシステムに集約
- ・ 生徒への介入履歴が一覧で時系列に確認できるデータベースとして活用可能

システム導入により支援をDX化

チーム連携による支援で効果があったケース

ケースA

ケースB

優先順位

学習も人間関係の構築も難しい

1. ⑥専門的な精神支援
2. ⑦日常的な精神支援
3. ⑩教科学習支援

強迫観念が生活にも学習にも影響

1. ⑥専門的な精神支援
2. ⑦日常的精神支援
3. ⑩教科学習支援

具体的な支援

⑥：SCによる面談、現在抱えているストレス解消、コミュニケーション課題、学力不振→ 発達課題について母親に連携
⑦：担任が短時間の面談、きらりルーム担当後もclassroomで会話
⑩：インターンに心を開き、対話。学習支援により発達課題の要因把握につながる

⑥：養護教諭とSCによる面談。生育過程での家族間問題も顕在化→ SCから医療連携→ 入院治療→ 自宅療養
⑦：担任による面談。基本的に教室で生活するが、しんどくなったら保健室や別室も利用
⑩：別室でワークブック等での自学

1 支援項目の定義と方針の決定

「どこから手をつけてよいのかわからない」を解消し、支援の方針と優先順位を明確化



家庭など**環境面**に関する支援

【当てはまるケース】

家庭環境が不安定／家族との関係性が不安定／保護者が無関心 ……など

生活リズムなど**身体面**に関する支援

【当てはまるケース】

生活リズムが不規則／深夜の徘徊／ひきこもり／睡眠不足／慢性的な体調不良 ……など

心理面に関する支援

【当てはまるケース】

精神的な不調／情緒の不安定／人間関係のトラブル／自己否定／不安・悩み ……など

学習面に関する支援

【当てはまるケース】

学習意欲の低下／授業内容についていけない／課題や宿題がこなせない ……など

1 支援項目の定義と方針の決定

10項目の支援項目により支援の体系化、役割分担の明確化

	10の支援方針	連携の窓口	協働支援者／関連機関	支援実施比率
環境	① 保護者への経済的支援	生徒指導主事	SSW	SC/NPO法人 民生児童委員／訪問支援員 行政機関 など
	② 保護者への精神的支援			
	③ 保護者への自立支援／生活習慣支援			
身体	④ 生徒への自立支援／生活習慣支援	生徒指導主事	SSW	SC/NPO法人 民生児童委員／訪問支援員 など
	⑤ ICTアウトリーチ支援			
心理	⑥ 専門的精神支援	養護教諭		SC／福祉・医療関係 など
	⑦ 日常的精神支援			インターン など
学習	⑧ 生活学習支援	支援ルーム担任		インターン など
	⑨ 探究学習支援			
	⑩ 教科学習支援			
				24.2% ※12件中7件 (58.3%に介入)
				22.1%
				31.5%
				22.1%

② 追加したチーム体制

専門家と大学生インターンとの連携

- 専門家
 - **スクールソーシャルワーカー**
不登校支援や就労をサポートするNPO（3名）：①保護者への経済的支援、②精神的支援、③自立支援
 - 1週間に1日／1.5時間程度稼働／時給4,000円
 - **スクールカウンセラー**（1名）：⑥専門的な精神支援
 - 1週間に1日追加／4時間程度稼働／時給5,000円
 - 大学生
 - **学生インターン**（広大生、8名）：⑦日常の精神的支援、⑧⑨⑩学習支援
 - 1週間に2日、1人3時間程度稼働／時給1,000円
- ※予算化と同時に大学の履修科目の単位認定等の仕組み化

3 支援記録システム SAOSについて

Support **A**ssessment **O**peration **S**ystemの頭文字をとったもの

- 児童生徒への包括的な支援をサポートする際に必要な記録・フィードバックシステム
- 下記のようなメリットを想定
 - 児童生徒の記録を紙からデータへ移行
 - 支援の観点を整理し、支援の手立ての検討が可能
 - 時系列な変化を把握し、介入のタイミングや効果の検討が可能
 - 学校内外でのチームでの情報共有が可能
 - 様々な情報の一元管理が可能

生徒一覧

ポイント①
それぞれの生徒の支援フローと優先順位、緊急性が可視化されている

+ 新規追加

カルテ①入力

ID	名前 ↓	学年	性別	支援方針・緊急性	最終更新	
(64)	AB			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	10日前	1 2 編集 削除
(36)	テスト	中学1年生	女	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	29日前	1 2 編集 削除
(58)	A			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	1 2 編集 削除
(62)	AA			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	28日前	1 2 編集 削除
(47)	B			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	1 2 編集 削除
(60)	C			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	28日前	1 2 編集 削除
(39)	D			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	1 2 編集 削除
(46)	E			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	28日前	1 2 編集 削除
(42)	F			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	1 2 編集 削除

ポイント②
支援内容を毎日記録できるカルテ1と、学年会など集約検討するためのカルテ2の記録ができる



Powered by
SPACE

AA

名前 AA

学年

性別

最終更新 2021/11/11 11:03

作成日時 2021/11/09 22:22

カルテ1の累積図示(ベータ)

ポイント③

カルテの累積が図示されて
表示されるため、支援の履
歴や傾向が理解しやすい

ポイント④

日々の履歴が記録者と日時
として蓄積されていくため、
振り返りやすい

カルテ1

全期間の累積を表示

2021年12月2日 11:38:00

佐久裕昭

2021年12月1日 19:55:00

2021年11月25日 14:17:00

2021年11月18日 19:12:00

カルテ2

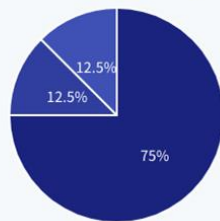
全期間の累積を表示

2021年11月25日 14:19:00

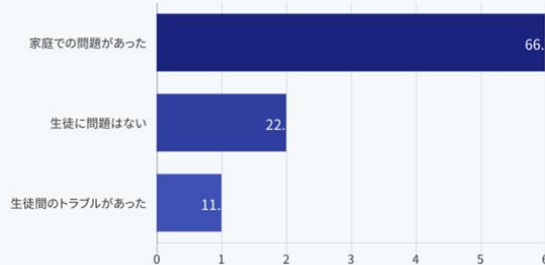
2021年11月11日 16:34:00

次は、現象と手立ての記録です。記録する項目を選択して下さい。

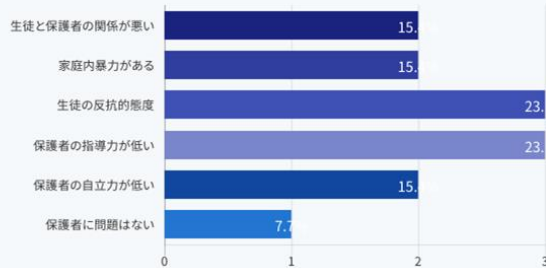
■ 生徒間のトラブルや家庭の問題など、生徒と保護者の環境について
■ 生徒の気分など、心理状態について ■ 生徒の学習について



生徒の環境の見取り結果を記録に残して下さい。(複数回答可)



保護者の環境の見取り結果を記録に残して下さい。(複数回答可)



生徒または保護者の環境について行った手立ての記録を残して下さい。(複数回答可)



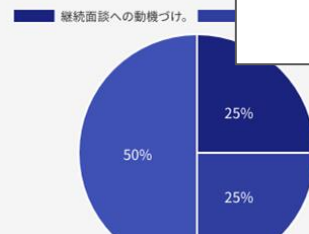
支援の累積図示のページ
のイメージ

図と表で記載することで一
目で理解し、共有を容易に
することが可能

生徒または保護者の環境について手立てを行う中で、効果的だったことを記載して下さい。

- 保護者への共感的理解とエンパワメント。具体的には、保護者の日頃からの工夫や取り組みへの焦点化と、強化するフィードバック等を心がけた。加えて、カウンセラーの経験を自己開示し、生徒の発達課題、思春期特有の問題、保護者の置かれている状況への気づきにつながるよう働きかけたこと。
- どりむスイッチ中村さんと保護者の面談を行った。同じような悩みを持った方がいることで、安心された様子だった。また、小さい時からのことを話されたようである。
- 母の愚痴を聞く
- 相談先を2つ紹介したところ、少し安心した様子で、どりむスイッチに興味を示された。

生徒または保護者の環境について手立てを行う中で



10項目の支援方針とSAOS導入のメリット・デメリット

メリット

1. 支援の細分化により、支援のステップの明確化と共有化
2. 生徒の状態に合わせた支援の選択肢や支援者のマッチング
3. 専門的な支援の切り分けにより、保護者や本人への専門的な介入を繋げる
4. 時系列に支援内容を確認できる

デメリット

1. 何かあった際にすぐに記入できないので忘れてしまう
2. 細やかな分類で頭の整理ができず、混乱する
3. 記入する項目が多く勤務時間が圧迫
4. 個人情報などの情報共有の懸念

誰ひとり取りこぼさないために

- 支援が福祉領域への積極的な介入と専門家チームとの連携が必須
- 見立てと手立てが複雑化
- その際に、支援の方向性を定義し方針を決定
- 方針をチーム内で共有しながら、明確化する際にITによるシステムサポートが有効

支援を行き渡らせるためのハードル

1

コーディネーター 1名の加配

- ・福山市のような個別支援が可能な教員をコーディネーターとして加配
- ・心理と身体の専門家である養護教諭を学校内外のコーディネーターとして加配

2

専門家の加配

- ・保護者に精神・福祉領域で対応できるSSWやSCなどの専門家の加配
- ・教育と福祉の連携が必須→ 子ども家庭庁など縦割りでは越えられなかった壁を低くする制度設計も必要

3

インターンの導入

- ・日常的な精神支援や個別学習支援は教育学部等の大学生インターンが効果的
- ・市町村レベルで大学と協定締結するなどし、恒常的に学生が現場でスキルアップでき、現場の支援が充実する仕組みが必要

4

情報セキュリティ

- ・個人情報の保有レベルの整備
- ・校務支援システム等の既存のシステムとの接続
- ・教員の日常の負荷を下げるアプリケーション等の検討

支援を行き届かせるための理想の支援体制

校長	1	校務補助員	1
教頭	1	介助員	3
事務長	1	支援員	1
学年	17	スクールサポートスタッフ	1
ふれあいルーム	1	SC	1
特別支援学級	4	学校図書補助員	1
養護教諭	1	教職員合計	35



- コーディネーター
(養護教諭) : 1名加配
- SC : 勤務日数の増加
週2日/4時間
- SSW : 追加配置
週1日/1.5時間
- インターン : 追加配置
週2日/3時間
単位認定で補完

教育福祉の拠点として学校が機能するために必要な人員と予算を制度化すべき



2

学校の枠を超えたサードプレイスの可能性
自分の特性を知ること始める個別最適な学び

学校の枠を外れ 多様な道を歩む「異才」の子どもたち



異才から個才へ

Super Personalization Activated by Curiosity and Enthusiasm

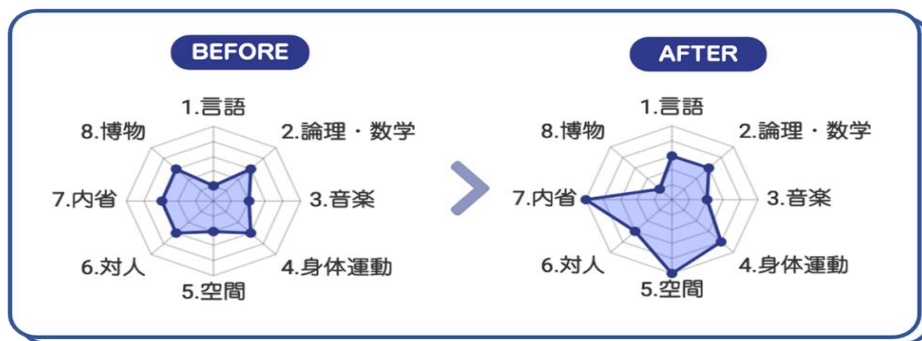
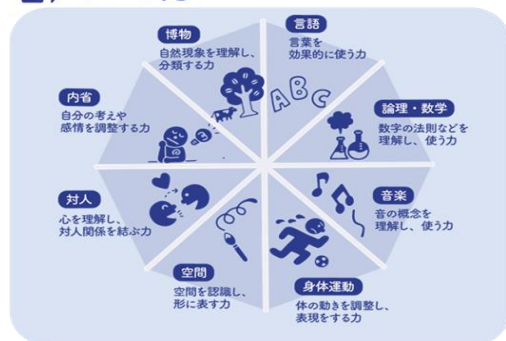
好奇心と情熱で作動する

究極のパーソナライゼーション

すべての人たちが心の中にある
好奇心と情熱に導かれるままに、
最大限に自分らしい可能性を
開花させて生きられる世界を創りたい。
誰もが自分の存在を尊び、
人生の主人公として生きること
喜びを感じる未来を切り拓きたい。
「SPACE」が叶えたいのはそんな未来の世界です。

「個才」の見える化で個別最適な学びへ

8つの力



思考スタイル



自分の特徴を把握して
学びの環境調整を
セルフコントロールする

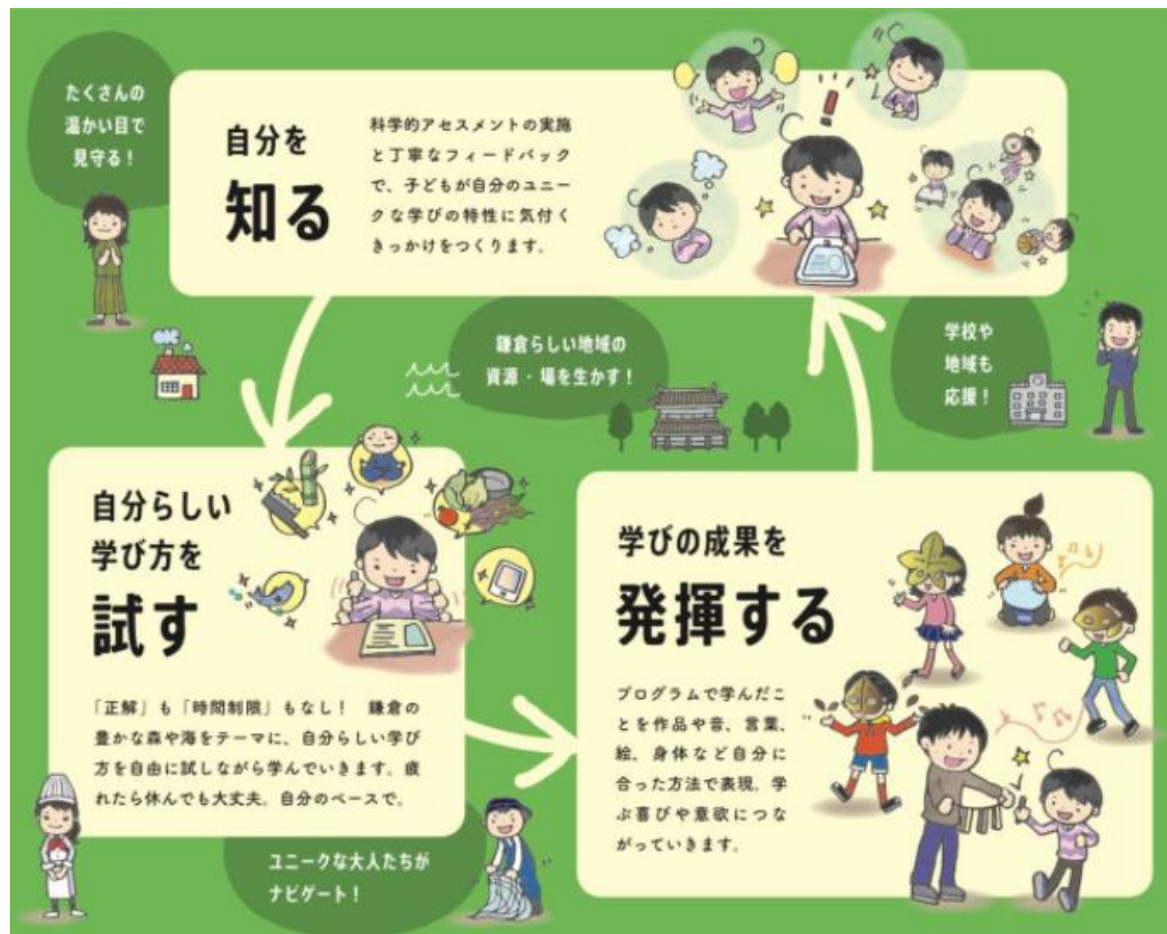
かまくらULTLAプログラム

Uniqueness Liberation Through Learning optimization and Assessment

アセスメントに基づく個別最適な学びの設計

- 教室→ 地域の多様な場所を学び場に（森、海、寺、テック企業など）
- 先生→ 地域内外のエキスパートや住民が先生に
- 学習内容→ 地域のリソースを教材にして、教科単元の紐付けへ





自分学をベースにおいて

自分と環境とのマッチングを
セルフコントロールしていける機会

- アセスメントで自分の興味関心、
認知特性、思考のスタイルなど
学び方の特徴を把握・共有
- 多様なコンテンツ（ヒト・モ
ノ・コト）に出会って、自分の
中でフィットするかどうか試行
錯誤できる機会→ 地域のリソ
ースを最大限に活用することが
可能

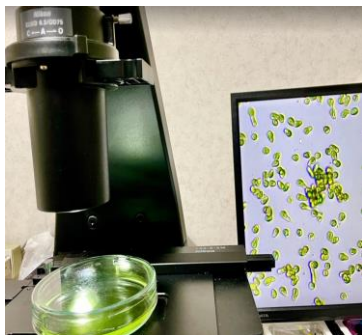
海の多様性から学ぶプログラム



現代の寺子屋を再現！



プログラムで出会った海藻にのめり込む中学生



個才と環境とのマッチング



ルートシップ全体像

ギャザリング

1.メロー会員に登録

メロー同士の交流やイベントなどに参加できる



2.応募する

ファンディング

3-1.アイデアを実現する！



助成金とメンタリングのサポートで、
自分の中にあるアイデアを
具体的に形にします。

プログラム

3-2.アイデアをみがく！



さまざまな世界に触れることで
アイデア・スキルを磨き、
自分の世界をより探究します。



第1回 2022.02.01

(第3回)南極から見た地球の姿 ~一つの大陸だったときのお話~

キーワード：南極、地球、歴史、考古学、旅行、グローバル、自分らしさ皆さんは「南極」と聞いてどんな世界をイメージ...



第2回 2022.02.01

目に見えないけどそこにある。"香り"ってなんだろう？

キーワード：香り、化学、ヘルスケア、精神、自分らしさいい香り。リラックスする香り。苦い香り。何だか、気づかない...



第3回 2022.02.01

(第2回)ゲームクリエイターへの道

キーワード：ゲーム、e-Sports、プログラミング、数学、芸術（アート）、自分らしさゲーム好きな皆さん！！お待ちし...

地域の学校は子どもたちの学びのホーム
学校外、地域の外でも
多様な学びを試行錯誤し
チャレンジできる機会を増やす



オンオフのハイブリッドで
多様なコンテンツに出会える機会を増やす

世界中の宝に

魅力的なものにオンラインで数多く出会い

リアルで没入できる学びが可能

保存



新しい学びの プラットフォーム STEAMライブラリー Ver. 1

詳しく知る

STEAM教材を探してみよう

キーワードで検索: 例 災害



科目から検索する *

SDGsから検索する *

Search



STEAM CHAOS とは

学びの宇宙空間「STEAM CHAOS（スティームカオス）」へようこそ。

未知との遭遇を求めて出かける宇宙探索のように
様々な学びの要素がカオスに満ちあふれている世界
それが「STEAM CHAOS」です。

この空間の中には、無数に存在する天体のように学びの視点が散りばめられています。
それを発見し、繋ぎ合わせて世界を広げていく。
それが「STEAM CHAOS」の学び方です。

宇宙の無重力空間のように

「STEAM CHAOS」の世界でも自由に学年や教科を飛び越えて
あなたの好奇心の赴くままに学びの探索を進めることができます。

教える、教わるという固定した関係性ではなく、おとな子どもも学び合うことができます。
思考を巡らせて自由に学びを創りあげていく中で
当たり前と思っていたことにも改めて発見があるかもしれません。

さあ、「STEAM CHAOS」の世界に飛び立ちましょう！

どんな学びを創りあげるかは、あなた次第です。

STEAM CHAOS での学びのツール

STEAM CHAOS（スティームカオス）には5種類の学びのツールがあります。

5種類のツールを駆使して、学びの探索を自由に進めてみてください。

マップ（地図）

全てのエピソードを一目で
見わたせる学びの地図です。
学ぶ道筋を考えたり、学びの視
在地を確認したりしながら
進めてみましょう。



エピソード（動画）

エピソードはテーマに関する
探究動画です。同じやミッショ
ンに出会えます。各エピソード
を見ながら学びの視野を広げて
みましょう。



プラン（学習画）

学び方のサンプルです。どんな
活動を通して、どのように学ぶの
かを考えるヒントにして
みましょう。



ミッション（ワークシート）

自分なりの答えを導き出すための
シートです。考えたことや調べたこと
をもとに学びを深めてみましょう。



ワープ（参考リスト）

学びを発展させるときに使うリンク集です。
別の角度から学びたいときや、より詳しい
情報にアクセスしたいときはワープして
みましょう。

STEAM CHAOS の9つのテーマ

STEAM CAOS には9つのテーマが惑星のように存在しています。

興味を持った他のテーマも探索してみてください。

● 火山「エネルギーの宝庫 三宅島を解剖せよ」

● 海「海から受け取る命のバトン」

● 黒みりん「黒みりんのヒミツに迫る」

● 膜「常識を覆す、膜の力」

● 城「白亜の城を守れ」

● 神楽・たたら「神様と遊ぼう」

● 森林「森林の国ニッポン」

● 久留米餅「たて糸とよこ糸が織りなす宇宙」

● お茶「水の旅 飲む森」



才能や興味が開花するために
アセスメントも参考にしながら
多様なコンテンツ（モノ・コト・ヒト）に出会い
個才と環境とをマッチングさせていく

ニッチな領域のエキスパートが
生まれる可能性をつくる



中等専門学校（中専）??

特化したものの資格化、認定化
習った知識や技術を社会に繋げ
キャリアにも繋がる仕組み